

(様式4)

事業所名 グループホームあい愛塩尻

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 6月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化が進んでいる中、緊急時の対応(AEDの使用法・災害時の避難誘導)を、年2回の訓練だけではいざという時に出来るのか心配である。夜勤帯の対応含め、勉強会を増やしていく必要がある。	グループホーム内での勉強会を、回数を増やし職員の不安を解消できるようにしていく	夜勤帯の対応マニュアルの作成及び既存の緊急時対応マニュアルの見直しを行う。部会開催時に、定期的にAEDの使用法を確認していく。	12ヶ月
2	49	以前に比べ、外出の機会が減少してしまった。遠出や買い物は厳しいが、散歩やガーデンの戸外へ出かけることで、利用者様がその時を気持ちよく過ごして頂けるような工夫を検討していく。	一部の利用者様だけではなく利用者全員が戸外へ出かけられるように計画する。	重度化が進む中、全体での活動が厳しいが、個々の状態に合わせた支援を検討し対応行っていく。個別の支援になる場合は、利用者様との会話の時間を持つように心がけていく。	12ヶ月
3	40	食事がマンネリ化したメニューになりがちである。目先を変えてみたり、工夫をしていく必要がある。	季節を感じられる工夫、提供の場所を変えてみたり普段と違った特別な日を検討していく。	施設内の交流スペースでの食事や戸外での提供計画する。メニューを二種類提示して、利用者様に選択できる日や希望献立の日を作るなど楽しい食事が出来るように工夫する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。